

## 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

合同会社福祉経営情報サービス

## ②事業者情報

名称：スクルドエンジェル保育園三郷中央園	種別：保育所
代表者氏名：籠島光哉	定員(利用人数)：90名
所在地：〒341-0038 埼玉県三郷市中央2-29-33	TEL：048-954-5101

## ③評価実施期間

令和7年7月1日（契約日）～令和7年10月31日（評価結果確定日）

## ④総評

## ◇特に評価の高い点

○子ども個々が意見を伝え合い、気づきや探求、創造へつなげる保育に取り組んでいる

子どもたちの興味が広がることで気づきや探求につながり、集中力や想像力へつながっていく「つながる保育」を園として推進している。年度当初の会議でその指針を伝え、これに基づき保育を実践しており、その取り組みは5歳児クラスの「カブトムシ園」などの活動にも現れている。また、その一環で、子どもたちが興味を持った事柄について、保育者の援助のもとで意見を出し合い、その興味を深堀りする「サークルタイム」を実施している。例えば、梅雨時の散歩について、降雨時にも散歩に出かける方法を話し合い、「傘をさして外出する」という意見がまとまり、自分たちの傘を作ろうという意見から、透明の傘にアクリル絵の具で模様を描き、自分の傘を作るという活動に発展する等、子どもたちが生き生きと活動できる環境づくりがされている。視察時は5歳児クラスが運動会の種目や夏祭りのグループ分けについて話し合っており、4歳児は夏まつりで出店するための商品づくりをおこなっていた。積極的に話し合いに参加したり、意欲的に作品作りに取り組み、溌剌と自分の気持ちを表現している子どもの姿からは、個々の主体性が尊重され、日常的に豊かな保育が実践されていることが推察された。

○保育に「見える化」を取り入れ、子ども自らが興味を持ちそれを深められる環境をつくっている

園内には子どもたちの豊かな表情を収めた写真に文章を添えたドキュメンテーションや、製作物などをたくさん掲示し、日々の子どもたちの様子や活動内容が分かりやすく伝えられている。園では「保育の見える化」に力を入れており、保護者向けの情報提供だけでなく、「見える化」により子どもが活動を振り返り、さらに興味を持ち、それを深められるような環境設定にも取り組んでいる。例えば、感染症予防であれば、5歳児クラスではウィルスの拡大写真を掲示し「見える化」することで、イメージを喚起し、うがい・手洗い等、予防の意識を高めている。また、3歳児クラスでは、子どもたちの手の届く壁に、ダンゴムシやミミズが「どこにいた？」と書かれた写真カードがかけられており、カードをめくると、「土の中から顔を出していたよ」などの答えが書かれている。子どもたちが自ら興味を持って観察するきっかけとなり、好奇心を学びにつなげる取り組みであり、各クラスがそれぞれ工夫し、見える化に取り組んでいる。

○業務負担の低減や仕事の楽しさに焦点をあて、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる

「職員個々が楽しく働きやすい職場をつくる」ことを目標として各種施策を実施している。保育については職員自身が楽しく感じられることや、大変なときは仲間に助けを求めるなどを職員に伝え、業務負担の軽減に取り組んでいる。また、「保育の見える化」等、課題認識やテーマをもった保育の実践に精力的に取り組んでおり、職員のモチベーションややりがいに焦点をあて、その結果として保育の質が高められることを目指している。今回の職員自己評価では「働きやすい職場環境づくり」の項目も比較的「できている」という評価が多く、定着率も向上していることから、これらの取り組みが功を奏しているものと推察された。

◇特にコメントを要する点

○中長期経営計画や単年度事業計画を整備して園運営をしていくことが期待される

外部環境については法人内での情報共有や関係機関の会議への参加などで情報収集がされており、また、経営課題については、法人内、園内での把握がされている。それらの情報に基づく事業環境分析や中長期事業計画の策定、中長期の計画を年度に展開した単年度の事業計画の策定などは今後の課題として取り組むことを望みたい。上記について、法人と事業所レベルで計画化し、中長期的な視点で事業運営を「見える化」して諸課題に取り組まれることを期待したい。

○自己評価の結果を改善に活かしていくことを勧めたい

保育関係者の自己評価は前年度の振り返りを実施後に今年度の目標を立て、前期、後期で目標設定と反省をおこなっている。一方、園の自己評価は園長が実施し、実施後に保護者向けの周知がされているが、改善に向けた活用までは実施されていない。毎年度の実施事項であるのでそれを機会と捉え、PDCAを意識して改善に向け活用することを勧めたい。また、今回初受審となる第三者評価も同様であり、是非、改善に活かしていくことを期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受け、園の現状を客観的に確認できたことは大変有意義であり、評価者のご指摘・ご助言を真摯に受け止めています。今回の評価で、日々の保育実践や職員の協働体制など、これまで積み重ねてきた取り組みを肯定的に評価していただけたことは、職員にとっても大きな励みとなりました。

一方で、自己評価の活用方法や目標設定の明確化、PDCAサイクルの運用の強化など、改善すべき点についても具体的なご意見をいただきました。これらは園の質向上に向けて重要な視点であると認識しており、年度計画や会議体の見直しを行いながら、職員間での共有を一層進めてまいります。今後も第三者評価を継続的な改善につなげ、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりと、保護者・地域から信頼される園運営に努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」とおり